

撮影をきっかけに
ドラム風エーナが
誕生したんだナ！

地域とつくるロケツー

㈱ハラカラ共同代表　柄澤一樹

岩村町のモニュメントは、当初、イベントを妨げない場所に設置していましたが「観光客に分かりやすい場所に移したい」という地域住民の方の声を受け、桝形に移設いただきました。地域の皆さんの協力や支えがあってこそ、ロケツーリズムが成り立っています。



今後のロケツー

市観光協会岩村支部支部長　宮地喜義

恵那には、歴史ある町並みや豊かな自然など、撮影地としても魅力があります。今回の経験を生かして恵那ロケの魅力を発信し、地域の受け入れ体制を整えていきます。また、ロケをきっかけに訪れた人に今後も恵那に来てもらえるよう、継続的な観光振興につなげていきます。



コラボ商品で恵那の魅力を

㈱ゼロワンカンパニー　堀口彰太

「ドラマをきっかけに、恵那の魅力をもっと知ってほしい」という気持ちで、恵那の特産品を生かしたコラボ商品の開発に携わっています。

『VIVANT』コラボの限定パッケージは、お土産にもぴったり。受け取った方にも恵那に興味を持ってもらえたらうれしいです。





恵那市コラボ企画

COLLABORATION

◀インスタグラム　◀X

明知鉄道×VIVANT

車体に『VIVANT』のロゴや乃木家の家紋をあしらったラッピング列車を運行中。車内にはポスターや特別仕様のつり革も設置している。恵那駅や明智駅ではオリジナルグッズも販売中。

■運行期間　令和9年3月末まで

■運行ダイヤ　「ロケツーリズムえな推進協議会」の公式インスタグラムや公式Xで確認できる



▲特別デザインのフリー切符と入場券



▲オリジナルグッズ500円以上の購入で特別デザインの「鉄カード」をプレゼント

市内事業所×VIVANT

市内事業所が『VIVANT』とのコラボ商品を開発。栗を使った菓子や寒天ラーメンなど、恵那の特産品を生かした商品がそろう。えなてらすや恵那峡サービスエリアなどで販売中。



日曜劇場

VIVANT × ENA

恵那市はVIVANTの撮影に協力しています

前作あらすじ

STORY

丸菱商事に勤める乃木憂助は、130億円の誤送金を取り戻すため、バルカ共和国へ向かう。現地で爆破事件に巻き込まれ、公安警察の野崎守や医師の柚木薫と出会う。やがて乃木の正体が、自衛隊直轄の非公認組織「別班」の諜報員であることが明らかに。国際テロ組織「テント」を追う中で、壮大な陰謀と自身の運命に向き合っていく。

TBS系日曜劇場『VIVANT』
毎週日曜 よる9時放送

◀ロケツーリズムえな公式ウェブサイト

はじめに

ABOUT

TBS系日曜劇場『VIVANT』の撮影が恵那市内で行われ、放送後は岩村町本通りなどのロケ地に多くの人が訪れている。ロケツーリズムえな推進協議会では、撮影への協力をはじめ、放送後の情報発信や商品開発など、地域と連携した取り組みを進めている。

問　観光交流課☎26-6830

ロケ地紹介

SPOT

『VIVANT』の印象的なシーンを彩った、恵那の風景。ドラマに登場した撮影スポットを紹介する。

明知ガイシ的場工場（第13・14話）

乃木が新庄を問い詰める緊張感あふれるシーンが撮影された。タイの工場を再現したセットの重厚な雰囲気が、場面の緊張感を引き立てた。



※民間企業の事業所のため、敷地内・建物内への立ち入りはできません



中山道ひし屋資料館前（第19話）

黒須の親族の拉致を企てるシンシーの諜報員を返り討ちにするシーンが撮影された。大井町内ではエキストラが自衛隊員などを演じた。



岩村町本通り（第11話）

長野らを乗せた車が桝形から坂を上り、停車するシーンが撮影された。約200人のエキストラが通行人を演じた。



◀桝形エリアには巨大モニュメントを設置。「I」の部分に立つことで、『VIVANT』の文字が完成する

インタビュー

INTERVIEW

ロケツーリズムえな推進協議会をはじめとした、多くの人の力で実現した恵那での『VIVANT』ロケ。誘致から撮影、放送後の取り組みまで、ロケの舞台裏や、支えてきた人たちの思いを聞きました。

ロケ誘致のきっかけ

ロケツーリズムえな推進協議会会長　阿部伸一郎



『VIVANT』の監督と親しい友人に「監督に一度、恵那をご覧いただきたい」と、かねてからお願いしていたところ、令和6年3月に実現しました。その際、市内各地を案内し、特に岩村の町並みを気に入っていただきました。その後も何度かお会いして「ぜひ恵那でロケを」とお願いを重ね、今回の誘致に至りました。

ロケ誘致を恵那の魅力を全国に発信する好機と捉え、撮影の受け入れから放送後の情報発信まで「オール恵那」で取り組めるよう、「ロケツーリズムえな推進協議会」を設立しました。

最大規模のエキストラ

㈱ココアイ代表取締役　古井千景



協議会でエキストラや広報を担当しました。岩村町で約200人が参加した撮影をはじめ、市内外から多くの方にエキストラとして協力いただきました。日程変更や屋外の厳しい環境にも臨機応変に対応してもらい、大規模な撮影を無事終えることができました。

恵那の食でロケを支える

中山道大井宿寿司幸　杉本桂子



出演者や撮影スタッフの皆さんに、恵那ならではの食材や郷土食を味わってもらいたいと考え、地域の事業者と協力して食事を用意しました。急な予定変更もある中、「おいしいものを食べて元気になってほしい」という思いを一つに、撮影現場を食で支えました。